

平成24年第12回教育委員会定例会日程

日 時 平成24年10月26日(金)

午後1時30分

場 所 北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 行政報告

教育長

教育総務課長

生涯学習課長

4 議 事

議案第61号 区域外就学について

5 報 告

・平成24年度全国学力・学習状況調査の分析について

6 その他

・次回教育委員会 定例会 11月28日(水) 午後1時30分から

7 閉 会

第 7 回 教育 連絡 会

平成 2 4 年 1 0 月 1 日

【確認事項】

① 2 学期が始まり（異常の早期発見→早期手当・対策）

② 教員免許更新講習について（対象者の受講状況）

北条小 0
大津小 1人終了
北条中 2-1人終了
大津中 2-1人終了

1 いじめの取り組みの追跡報告について

- ・文科省の調査から認知され、継続しているものについて
- ・この度認知出来たことを教訓に、新たないじめの未然防止対策や定期的な調査の見直しを図る
- ・いじめについての自作資料を作成し、授業に活かす
- ・一人ひとりを大切にする教育活動の展開
- ・お互いの存在を尊重する授業の展開 等

2 こども園の運動会について

- ・一人ひとりを大事にした演技内容
- ・子どもは伸ばせば伸びる
- ・発達段階から少し高度化と思われる演技も良く身に付いていた
- ・アナウンスで、演技の難易度を解説する取り組み
- ・保護者の協力を得て実施しているが、小中学生のボランティアの活用は
- ・一時のショーに終わらないように、積み上げを大事に

3 採用試験・各候補者試験について

- ・講師への任用希望や辞退の提出
- ・新採・教頭候補者への励ましや助言
- ・学校組織の中核者の育成→管理職への道

4 2 学期の取り組みについて

- ・季節も良し、教師も子ども達も伸びる時期
- ・園内・校内研修会の充実を
- ・指導者が伸びれば、子ども達はもっと伸びる
- ・共通理解と共通実践→データの蓄積・記録して共有
- ・発達段階に即して、身につけさせなければならないことは確実に身につけさせる

5 教職員の義務・信用失墜行為について

- ・社会人としての務め
- ・加えて、教職員としての務め

6 その他

- ・
- ・

「とっとり教育の日」について

【倉吉市】

- ・ 26日の定例教育委員会で同意することに承認してもらい、同意する旨の回答をする予定

【琴浦町】

- ・ 26日の定例教育委員会で報告をし、意見集約のうえ決定をする予定

【北栄町】

- ・ 9月の定例教育委員会で、教育長会が中心となって検討する旨を報告
- ・ 先日の郡教育長会であった情報交換を参考にしながら検討中

【三朝町】

- ・ 先日の郡教育長会であった情報交換を参考にしながら検討中

【湯梨浜町】

- ・ 26日の定例教育委員会で報告をし、意見集約のうえ決定をする予定

10月行政報告

(10月26日 定例委員会)

＝教育総務課＝

1 教育委員会の開催について

9月25日 第11回教育委員会定例会を開催しました。議事は以下のとおりで、原案どおり承認されました。また、文部科学省から依頼のあったいじめ問題に関する緊急調査の結果について報告を行ないました。委員からは、いじめの早期発見・早期対応、児童生徒への指導、家庭や地域との連携などについて、これまで以上に取り組んで行かなければならないなどの意見が出されました。

○議事

- ・北栄町準要保護児童生徒の認定について
- ・北栄町音田教育振興基金高等学校入学準備費給付金交付規則の一部を改正する規則の制定について
- ・北栄町人権同和教育推進協議会補助金交付要項等の一部を改正する要綱の制定について
- ・北栄町教育委員会事務局職員の任命について

○平成24年度全国学力・学習状況調査結果(4月17日 実施)

抽出校 北条小学校・大栄中学校・・・9月報告済

希望活用校 大栄小学校・北条中学校・・・別紙資料のとおり

※町全体の結果と分析及び対策・・・別紙資料のとおり

2 北栄町教育行政評価委員会の開催について

10月5日 第2回北栄町教育行政評価委員会を開催しました。今回は中間評価として、今年度9月までに実施しました教育委員会事業について、その成果と課題を説明させていただきました。今後は、1月に予定しております第3回委員会で、すべての事業の評価をしていただく予定です。

3 同日公開参観日の実施について

10月16日、こども園・保育所(園)・小学校・中学校の同日公開参観日を実施し、1,315人(昨年10月1,127人)の方が参観されました。

北条みどり	参観者	49人	大誠こども園	参観者	93人
北条こども園	〃	147人	由良こども園	〃	60人
栄保育所	〃	9人	大谷保育所	〃	26人
北条小学校	〃	499人	大栄小学校	〃	294人
北条中学校	〃	56人	大栄中学校	〃	82人

計 1,315人

4 学校給食の異物混入について

10月16日(火)および18日(木)に提供しました学校給食に異物が混入する事態が発生いたしましたので、その経緯について報告します。今後このようなことがないように、給食センターでは目視確認の徹底を再度確認しました。また、すべての食材納入業者に、異物の混入がないように注意をお願いする文書を送付いたしました。

①10月16日(火)

項 目	内 容
異物が発見された食べ物	トマトパン
発見された異物	ナイロン片 (三角形、台形状のもの2片)
発見された状況	北条小学校3年生および4年生の児童が発見 (パンの中に噛み切れないものがあると担任に報告)
調査結果	パンの納入業者に確認したところ、冷凍ボイルトマトを包んでいるナイロンが、パン生地にトマトを練りこむ際、誤って混入したものと判明
保護者への対応	異物を口にした児童の家庭への事情説明と謝罪 全小中学校保護者へ、異物混入についての経緯とお詫びの通知文を送付 (17日)
再発防止にむけて	町として、納入業者に次のことを指導 ・解凍の方法として、水につけナイロンと本体が分離しやすい方法をとること。 ・異物混入チェックとして2人体制で作業をすること 県生活環境局生活安全課食品衛生監視員から業者への指導 ・異物混入がないよう目視確認を徹底すること ・施設内の整理整頓をすること

②10月18日(木)

項 目	内 容
異物が発見された食べ物	はまちの切り身 (焼き魚)
発見された異物	ナイロン片 (三角形、長方形のもの2片)
発見された状況	北条小学校2年生の児童および大栄中学校1年生の生徒が発見 (切り身にナイロンがついていると担任に報告)
調査結果	切り身の納入業者に確認したところ、冷凍した切り身を保存するときに包んでいるナイロンが、出荷する際に破れて切り身についたまま出荷されたことが判明。それが調理 (味付け・蒸し焼き)・配缶する段階でも見つけられず、そのまま提供した。
保護者への対応	異物を口にした児童・生徒の家庭への事情説明と謝罪 北条こども園幼稚部保護者および全小中学校保護者へ、異物混入についての経緯とお詫びの通知文を送付 (19日)

再発防止にむけて	<p>県生活環境局生活安全課食品衛生監視員からの指導 (納入業者及び給食センターに対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異物混入がないよう原材料の納入時の目視確認を徹底すること ・調理終了時の目視確認も徹底すること <p>給食センターとしての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【検収時】、【下処理時】、【配缶時】における目視の徹底 <p>納入業者からの改善報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異物混入のチェック（目視確認）を複数体制で十分に行なう。 ・冷凍保存する際のナイロンを、現在の透明のものから色つきのものに変更する。
----------	---

5 学校等行事について

学校行事が次のとおり実施（予定）されました。

- ・修学旅行 10月4日～5日 北条小学校6年生 67人
行き先：広島方面 平和記念公園、宮島
- ・学習発表会 10月4日 大栄小学校
10月20日（土）13時～ 北条小学校
- ・文化祭 11月3日（土）13時40分～・4日（日）8時55分～ 北条中学校
11月4日（日）8時30分～ 大栄中学校
- ・由良こども園発表会 12月1日（土）9時～ 由良こども園
- ・北条みどり保育園発表会 12月8日（土）9時～ 北条みどり保育園
- ・大誠こども園発表会 12月14日（金）9時～ 大誠こども園
- ・大谷保育所発表会 12月15日（土）9時～ 大谷保育所
- ・北条こども園発表会 12月15日（土）9時～ 北条こども園

平成24年度 全国学力・学習状況調査(4月17日実施 抽出調査)
(抽出率約30%)

希望利用校 大栄小学校(第6学年)

【国語A】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
大栄小学校	74	17	13.8	81.2	-
鳥取県(公立)	2,307	17	14.1	83.2	82.5 - 83.9
全国(公立)	255,180	17	13.9	81.6	81.4 - 81.7

【国語B】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
大栄小学校	74	11	6.0	54.8	-
鳥取県(公立)	2,307	11	6.2	56.2	55.0 - 57.3
全国(公立)	255,139	11	6.1	55.6	55.4 - 55.8

【算数A】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
大栄小学校	74	19	14.3	75.2	-
鳥取県(公立)	2,307	19	13.8	72.8	72.0 - 73.7
全国(公立)	255,186	19	13.9	73.3	73.1 - 73.5

【算数B】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
大栄小学校	74	13	7.6	58.8	-
鳥取県(公立)	2,307	13	7.4	57.3	56.2 - 58.3
全国(公立)	255,151	13	7.7	58.9	58.7 - 59.1

【理科】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
大栄小学校	74	24	15.3	63.8	-
鳥取県(公立)	2,307	24	14.3	59.6	58.6 - 60.6
全国(公立)	254,825	24	14.6	60.9	60.8 - 61.1

〔平均正答率の95%信頼区間〕

95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲

平成24年度 全国学力・学習状況調査(4月17日実施 抽出調査)
(抽出率約30%)

希望利用校 北条中学校(第3学年)

【国語A】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北条中学校	60	32	22.7	70.8	-
鳥取県(公立)	2,844	32	24.3	76.0	75.3 - 76.6
全国(公立)	424,157	32	24.0	75.1	75.0 - 75.2

【国語B】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北条中学校	60	9	5.6	62.0	-
鳥取県(公立)	2,843	9	5.9	65.2	64.3 - 66.0
全国(公立)	424,258	9	5.7	63.3	63.2 - 63.4

【数学A】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北条中学校	60	36	19.7	54.7	-
鳥取県(公立)	2,843	36	23.1	64.0	63.1 - 65.0
全国(公立)	424,379	36	22.4	62.1	62.0 - 62.3

【数学B】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北条中学校	60	15	5.8	38.4	-
鳥取県(公立)	2,844	15	7.4	49.5	48.1 - 50.8
全国(公立)	424,373	15	7.4	49.3	49.2 - 49.5

【理科】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北条中学校	60	26	12.9	49.7	-
鳥取県(公立)	2,843	26	13.6	52.4	51.4 - 53.4
全国(公立)	424,320	26	13.3	51.0	50.9 - 51.1

〔平均正答率の95%信頼区間〕

95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲



全国学力・学習状況調査より



今年の4月に実施された、本年度の全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、6年生の全体としての様子を北栄町教委の決定された公表範囲に従ってお知らせしたいと思います。

詳しくは、裏面をご覧ください。本年度は抽出調査であり、県や全国
の平均正答率（8月10日発表）は推定値であり、統計的に上下それぞれ1%程度の誤差があります。本校は、
本年度は希望校として調査に参加したため、9月10日に結果が送られてきました。

なお、参加した6年生個々には、問題への解答状況等の結果を個人票として、担任の方から渡します。

【学力面】

- 国語A（主として知識）、国語B（主として活用）が、県や全国の平均をやや下回る結果でした。
- 算数A、Bともは県や全国の平均を上回り、良好な結果でした。
- 理科A、Bとも全国や県を3～5ポイント上回る良好な結果でした。

【質問紙の項目から】

- 最も気になったのが、「最後までやり遂げて嬉しかった経験がある」「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標がある」などが、県や全国に比べてやや低いこと、また「国語や算数や理科は、将来の自分に役立つ」の項目もやや低く、自尊心や自己肯定感の持っていない15～20%近い児童への対応を考えていきたい。
- 「近所の人にあいさつする」「自分たちで話し合ってきたりを決める」などが県や全国よりも高く、日頃の取組の成果が現れている。
- 「家で宿題や勉強をしている」「テレビやゲームの時間」「朝食を毎日食べる」なども県や全国より良好な結果で、各家庭での支援・協力のおかげだと感謝しています。

この調査は4月に行われ、内容としては5年生のもです。調査からすでに4ヶ月以上経過しており、大切なのはこれまでの取り組みと今後どう取り組んでいくかだと考えています。今年度も、『付ける力を明確にした学習指導の工夫』を私たち教職員のテーマとして日々取り組んでいます。これから3月まで、それぞれの学年において、子どもたちがしっかりと力を身に付けるよう取り組みを続けたいと思っています。

また、寝る時刻が遅かったり、ゲームの時間が長い児童は正答率の低さとの関連が強く、逆に家庭での生活リズムが確立している児童ほど高い正答率を示しています。宿題をきちんとやることと合わせて、低学年の間からの家庭での生活習慣、生活リズムの確立に、これまで以上のご家庭の協力をお願いしたいと思います。

なお、今回の全国学力・学習状況調査の結果のお知らせにつきまして、ご質問・ご意見がございましたら校長までお願いいたします。

早めの受診や治療を！

1学期に校医さんによって、歯科、眼科などの検診があり、治療や詳しい検査をした方がよい人には、保健室から文書で受診を勧められています。

しかし、現在まで、のべ120名を超す人が未治療、未受診のままです。例えば、乳歯の虫歯だからといってほっておくと、はえてくる永久歯に悪影響がでることも多くあります。永久歯の虫歯の場合はなおさらです。早めの受診や治療をお願いします！

最近、歯にくっつかないミルクキーも発売され、虫歯の治療済みの被せ物も安心だそうですが、それも治療しているからこそですね。

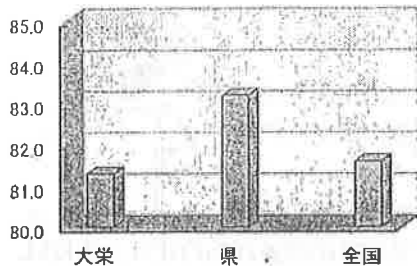
児童の活躍

【第8回鳥取県小学生バレーボール選手権大会 中部地区大会】

優勝 大栄バレーボール育成会

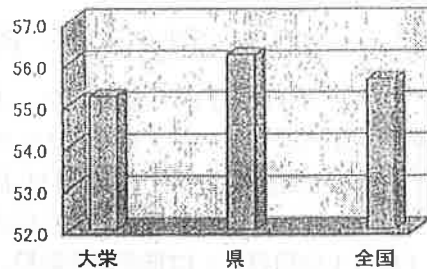
大栄小学校 全国学力・学習状況調査の結果と考察(平成24年4月実施)
【国語】

国語A(主として知識)



正答率		正答率
81.3	学年	55.2
83.2	県	56.2
81.6	全国	55.6

国語B(主として活用)



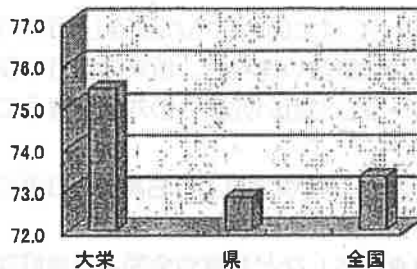
OAでは、読字・筆順・必要なことを整理して簡潔に書くは良好だが、書字・慣用句・的確な読み取りの部分がやや弱い。

OBでは、敬語の使い方、文から事実を読み取り自分の考えを書く部分が弱い。

☆読書量との相関が見られるので、読書量を増やしていきたい。

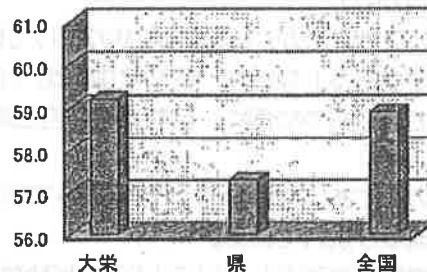
【算数】

算数A(主として知識)



正答率		正答率
75.4	学年	59.2
72.8	県	57.3
73.3	全国	58.9

算数B(主として活用)



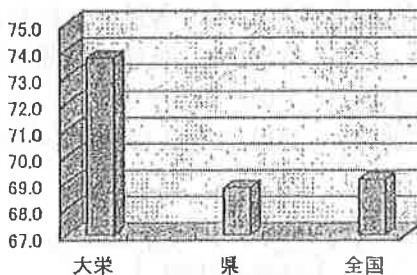
OAでは、計算力は良好だが、面積を求めるなど量と測定の部分が弱い。

OBでは、問題を解いていく過程を記述する部分で個人差が大きかった。

☆現在取り組んでいる少人数指導やTT指導による成果が出ている部分もたくさんあるが、さらに少人数の良さを活かして、一人一人が自分の考えを出せる授業に取り組みたい。

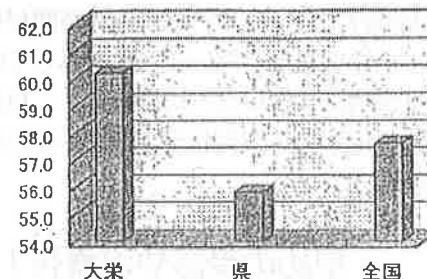
【理科】

理科A(主として知識)



正答率		正答率
73.7	学年	60.2
68.8	県	55.8
69.1	全国	57.6

理科B(主として活用)



OA・Bとも、県や全国を大きく上回る良好な結果である。

☆引き続き、指導法を工夫しながら取り組んでいきたい。

【正答数標準化による年度間比較(全国平均を100とする)】

*年ごとに問題が違うため、その年の全国平均を100としたとき、どれくらいになるかを示したもの

大栄小 国語A[100] 国語B[100] 算数A[101] 算数B[100] 理科[101]

1 実施状況

4月17日に実施 抽出校 北条小学校・大栄中学校
希望利用校 大栄小学校・北条中学校

【小学校6年生】

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	質問紙
人数	138	138	138	138	138	139

【中学校3年生】

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	質問紙
人数	115	115	115	115	115	115

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【国語A】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	138	17	14.1	82.7	-
鳥取県(公立)	2,307	17	14.1	83.2	82.5 - 83.9
全国(公立)	255,180	17	13.9	81.6	81.4 - 81.7

【国語B】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	138	11	6.0	54.6	-
鳥取県(公立)	2,307	11	6.2	56.2	55.0 - 57.3
全国(公立)	255,139	11	6.1	55.6	55.4 - 55.8

【算数A】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	138	19	14.4	75.6	-
鳥取県(公立)	2,307	19	13.8	72.8	72.0 - 73.7
全国(公立)	255,186	19	13.9	73.3	73.1 - 73.5

【算数B】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	138	13	7.7	59.5	-
鳥取県(公立)	2,307	13	7.4	57.3	56.2 - 58.3
全国(公立)	255,151	13	7.7	58.9	58.7 - 59.1

【理科】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	138	24	14.9	62.1	-
鳥取県(公立)	2,307	24	14.3	59.6	58.6 - 60.6
全国(公立)	254,825	24	14.6	60.9	60.8 - 61.1

【平均正答率の95%信頼区間】

95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲

①国語

○国語A（主として知識）…17問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.1ポイント（H22年度は+2.3ポイント）
- ・平均正答率は、県に比べて-0.5ポイント（H22年度は-0.2ポイント）
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」であり、全国平均を下回っているのは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」である。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は10問。
「学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く」問題（全国比+10.6ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は7問。
「場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら音読する」問題（全国比-7.4ポイント）

○国語B（主として活用）…11問

- ・平均正答率は、全国に比べて-1.0ポイント（H22年度は-3.5ポイント）
- ・平均正答率は、県に比べて-1.6ポイント（H22年度は-6.7ポイント）
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「話すこと・聞くこと」であり、全国平均を下回っているのは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」である。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問。
「資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する」問題（全国比+9.0ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は5問。
「目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉える」問題（全国比-9.5ポイント）

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「今回の解答を文章で書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した」（+5.6ポイント）
- ・「読書は好き」（+2.9ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「国語B-3の問題にあるような、長い文章を読むことは難しい」（-6.3ポイント）
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」（-6.2ポイント）

②算数

○算数A（主として知識）…19問

- ・平均正答率は、全国に比べて+2.3ポイント（H22年度は-2.7ポイント）
- ・平均正答率は、県に比べて+2.8ポイント（H22年度は-5.0ポイント）
- ・学習指導要領のすべての領域で全国平均を上回っている。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は13問。
 - 「立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している」問題（全国比+12.7ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は6問。

「面積についての感覚を身に付けている」問題（全国比-9.2ポイント）

○算数B（主として活用）…13問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.6ポイント（H22年度は-0.8ポイント）
- ・平均正答率は、県に比べて+2.2ポイント（H22年度は-2.9ポイント）
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「数と計算」「量と測定」「図形」であり、全国平均を下回っているのは、「数量関係」である。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は8問。
 - 「示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されているものを選択できる」問題（全国比+7.6ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は5問。
 - 「表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述できる」問題（全国比-10.3ポイント）

〔算数関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「今回の言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題では最後まで解答を書こうと努力した」（+8.2ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」（-15.0ポイント）
- ・「算数の勉強は好き」（-8.8ポイント）

③理科

○理科…24問

- ・平均正答率は、全国に比べて+1.2ポイント
- ・平均正答率は、県に比べて+2.5ポイント
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「エネルギー」「生命」「地球」であり、全国平均を下回っているのは、「物質」である。

○理科A（主として知識）…7問

（全国比+4.7ポイント）

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問。

「植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している」問題（全国比+14.1ポイント）

- ・平均正答率が全国平均未満の問題は1問。

「虫眼鏡の適切な操作方法を身に付けている」問題（全国比-1.2ポイント）

○理科B（主として活用）…17問

（全国比-0.3ポイント）

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は9問。

「天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述できる」問題（全国比+8.5ポイント）

- ・平均正答率が全国平均未満の問題は8問。

「水は、温度によって状態が変化する性質を、物を動かす「エネルギーの見方」として適用できる」問題（全国比-8.7ポイント）

〔理科関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」（+0.6ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」（-13.3ポイント）
- ・「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」（-8.7ポイント）

(2) 中学校3年生

【国語A】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	115	32	24.2	75.8	-
鳥取県(公立)	2,844	32	24.3	76.0	75.3 - 76.6
全国(公立)	424,157	32	24.0	75.1	75.0 - 75.2

【国語B】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	115	9	5.9	65.6	-
鳥取県(公立)	2,843	9	5.9	65.2	64.3 - 66.0
全国(公立)	424,258	9	5.7	63.3	63.2 - 63.4

【数学A】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	115	36	22.5	62.5	-
鳥取県(公立)	2,843	36	23.1	64.0	63.1 - 65.0
全国(公立)	424,379	36	22.4	62.1	62.0 - 62.3

【数学B】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	115	15	7.1	47.5	-
鳥取県(公立)	2,844	15	7.4	49.5	48.1 - 50.8
全国(公立)	424,373	15	7.4	49.3	49.2 - 49.5

【理科】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%信頼区間
北栄町	115	26	14.0	53.9	-
鳥取県(公立)	2,843	26	13.6	52.4	51.4 - 53.4
全国(公立)	424,320	26	13.3	51.0	50.9 - 51.1

【平均正答率の95%信頼区間】

95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲

①国語

○国語A(主として知識)…32問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.7ポイント(H22年度は+3.7ポイント)
- ・平均正答率は、県に比べて-0.2ポイント(H22年度は+1.5ポイント)
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「書くこと」「言語事項」であり、全国平均を下回っているのは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」である。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は18問。
 - 「文脈に即して漢字を正しく書く」問題(全国比+15.0ポイント)
 - 「はがきの書き方を理解して書く」問題(全国比+13.3ポイント)
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は14問。
 - 「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」問題(全国比-10.1ポイント)

○国語B(主として活用)…9問

- ・平均正答率は、全国に比べて+2.3ポイント(H22年度は+2.6ポイント)

- ・平均正答率は、県に比べて+0.4ポイント（H22年度は+0.8ポイント）
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」であり、全国平均を下回っている領域はなかった。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問。
「効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書く」問題（全国比+7.1ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は3問。
「物語の展開や表現の特徴を捉える」問題（全国比-2.5ポイント）

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高いもの

- ・「国語の勉強は大切だと思う」（+3.6ポイント）
- ・「」（+ポイント）

■全国平均より低いもの

- ・「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる」（-13.4ポイント）
- ・「国語の授業の内容はよく分かる」（-8.6ポイント）

②数 学

○数学A（主として知識）…3.6問

- ・平均正答率は、全国に比べて+0.4ポイント（H22年度は+1.4ポイント）
- ・平均正答率は、県に比べて-1.5ポイント（H22年度は-0.1ポイント）
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「数と式」「図形」であり、全国平均を下回っているのは、「数量関係」である。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は20問。
「文字の値が整数のときに、式の値について考察することができる」問題（全国比+8.6ポイント）
「同位角が等しければ2直線は平行であることを理解している」問題（全国比+7.7ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は16問。
「二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している」問題（全国比-11.0ポイント）
「対称移動した図形をかくことができる」問題（全国比-9.1ポイント）

○数学B（主として活用）…15問

- ・平均正答率は、全国に比べて-1.8ポイント（H22年度は+1.6ポイント）
- ・平均正答率は、県に比べて-2.0ポイント（H22年度は+0.4ポイント）

- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っている領域はなく、「数と式」「図形」「数量関係」が全国平均を下回っている。
- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問。
 - 「木の高さの求め方」から必要な情報を適切に選択し、処理することができる」問題（全国比+7.9ポイント）
 - 「表から必要な情報を適切に選択し、処理することができる」問題（全国比+7.8ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は9問。
 - 「事柄が成り立つ理由を示された方針に基づいて説明することができる」問題（全国比-12.0ポイント）
 - 「問題解決の方法を数学的に説明することができる」問題（全国比-6.8ポイント）

[数学関係の質問紙]

■全国平均より高いもの

- ・「数学の授業の内容はよく分かる」(+9.0ポイント)
- ・「数学の勉強は大切だと思う」(+6.6ポイント)

■全国平均より低いもの

- ・「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」(-6.9ポイント)
- ・「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」(-3.6ポイント)

③理科

○理科…26問

- ・平均正答率は、全国に比べて+2.9ポイント
- ・平均正答率は、県に比べて+1.5ポイント
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」であり、全国平均を下回っているのは、「地学的領域」である。

○理科A（主として知識）…10問

（全国比+3.1ポイント）

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は7問。
 - 「魚類の呼吸と水草の光合成を理解している」問題（全国比+16.4ポイント）
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は3問。
 - 「石灰岩（石灰石）にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けている」問題（全国比-2.1ポイント）

○理科B（主として活用）…16問

(全国比+2.7 ポイント)

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は10問。

「動物を飼育する場面で、両生類の子と親の体のつくりと働きや生活場所に関する知識を活用して、飼育の環境を整えた理由を説明することができる」問題 (全国比+19.1 ポイント)

- ・平均正答率が全国平均未満の問題は6問。

「水槽の中の液体が、食塩水の1層なのか、上層が水、下層が食塩水の2層なのか」ということを検証する実験を計画することができる」問題 (全国比-6.3 ポイント)

[理科関係の質問紙]

■全国平均より高いもの

- ・「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」(+8.1 ポイント)
- ・「観察や実験を行うことは好き」(+6.6 ポイント)

■全国平均より低いもの

- ・「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」(-5.4 ポイント)
- ・「科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがある」(-4.3 ポイント)

3 質問紙調査の概要

○「朝食を毎日食べていますか」に肯定的な回答は、児童 98.6%、生徒 99.1%で、全国比はそれぞれ+2.5 ポイント、+5.5 ポイントである。

○「自分にはよいところがあると思いますか」に肯定的な回答は、児童 74.8%、生徒 75.7%で、全国比はそれぞれ-2.0 ポイント、+7.5 ポイントである。

○「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答は、児童 80.6%、生徒 69.6%で、全国比はそれぞれ-6.1 ポイント、-3.6 ポイントである。

○「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)」に「4時間以上」と回答した児童は 27.3%で全国比+4.0 ポイントである。「4時間以上」と回答した生徒は 7.8%で、全国比-7.8 ポイントであるが、「3時間以上、4時間より少ない」と回答した生徒は 26.1%で全国比+9.2 ポイントである。

○「携帯電話で通話やメールをしていますか」で「ほぼ毎日している」という回答は、児童 1.4%、生徒 26.1%で、全国比はそれぞれ-10.9 ポイント、-6.5 ポイントである。

○「家の人と普段(月～金曜日),夕食を一緒に食べていますか」に肯定的な回答は、児童 94.2%、生徒 87.8%で、全国比はそれぞれ+4.8 ポイント、+5.0 ポイントである。

○「家で、学校の宿題をしていますか」に肯定的な回答は、児童 100%、生徒 94.8%で、全国比はそれぞれ+3.0 ポイント、+9.1 ポイントである。

○「家で、学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答は、児童 33.8%、生徒 17.4%で、全国比はそれぞれ-6.7 ポイント、-11.9 ポイントである。

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答は、児童 90.6%、生徒 70.4%で、全国比はそれぞれ+27.4 ポイント、+32.7 ポイントである。

○「学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがありますか」に肯定的な回答は、児童 30.2%、生徒 17.4%で、全国比はそれぞれ-8.8 ポイント、-4.4 ポイントである。

○「年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか」に肯定的な回答は、児童 65.5%、生徒 46.1%で、全国比はそれぞれ-6.5 ポイント、+2.6 ポイントである。

○「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」に肯定的な回答は、児童 92.1%、生徒 93.9%で、全国比はそれぞれ+1.0 ポイント、+6.6 ポイントである。

4 傾向と対策

(1) 小学校6年生

①国語

- ・問題A Bに共通して、全国平均を下回っている学習指導要領の領域は「読むこと」である。質問紙調査で「長い文書を読むことは難しい」と答えている割合は全国より多い。読書活動をさらに充実させ、本を読む機会を増やすことや、目的や意図に応じ、文章を的確に読み取ったりする指導を充実させていくことが大切である。
- ・質問紙調査で「国語の授業で学習をしたことは、将来、社会に出たときに役立つ」に肯定的回答は全国より少なかった。理科も同じ傾向があり、学習の意義について、自分の人生を豊かにすることでもあることを実感する指導も心がけていきたい。
- ・B問題の正答率がA問題に比べて低い。基礎的・基本的な知識・技能を活用する場面を授業の中に取り入れていくことが大切である。

②算数

- ・問題A Bともに正答率が全国・県を上回っている。学習指導要領の領域では、唯一問題Bの「数量関係」が全国を下回っている。中学校数学において苦手にする生徒が多い領域なので、表を活用して理由を記述する活動を取り入れ、力を伸ばしてい

きたい。

- ・質問紙調査で「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」に肯定的な回答は、全国比で 15 ポイント低い。算数の問題は生活の一部から取り出されているものであり、そのことを実感する課題設定や有用感が持てる活用問題の設定をしていきたい。

③理科

- ・平均正答率は、全国・県に比べて高くなっている。質問紙調査で「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」に肯定的な回答は、全国比で 8.7 ポイント低い。これは算数と同様の傾向であり、学んだことの有用性に気づく経験も積み重ねていきたい。
- ・質問紙調査で「理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」に肯定的な回答は、全国比で 13.3 ポイント低い。さまざまなことに興味を持ち、自ら考える経験も積み重ねていきたい。

④生活

- ・質問紙調査で「朝食を食べていますか」に肯定的な回答は 98.6%で、全国比で 2.5 ポイント高い。就寝・起床時刻に関する質問への回答を含めて、規則的な生活ができている傾向がある。ただし、質問紙調査で「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲーム除く）」に「4時間以上」と回答した児童は 27.3%で全国比+4.0 ポイントである。時間の使い方について考え、よい良い生活をしていこうとする意識を高めたい。
- ・質問紙調査で「家で、学校の宿題をしていますか」に肯定的な回答は 100%で、児童の勤勉さや、学校の取り組みの充実がうかがわれる。
- ・質問紙調査で「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答は 90.6%で、全国比で+27.4 ポイントとかなり高い。地域の取り組みのよさをよく現している。ただし、「学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがありますか」「年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか」という問いの肯定的回答は、全国比を下回っている。異年齢の人との交流が全国に比べ少ないという傾向がある。
- ・質問紙調査で「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」に肯定的な回答は 92.1%で、日頃の取り組みの成果と考えられる。

(2) 中学校3年生

①国語

- ・平均正答率は、問題Aが全国とほぼ同じで、問題Bが全国をやや上回っている。活用問題の正答率が高かったことは、思考力・判断力・表現力を高めるよう授業改善に取り組んできた成果とみることができる。
- ・質問紙調査で「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理

解しながら読んでいる」の肯定的回答が全国より 13.4 ポイント低い。小学校の傾向と同じく「読むこと」領域に課題があると考えられる。小中が連携をして取り組むことが大切である。

- ・質問紙調査で「国語の授業の内容はよく分かる」の肯定的回答が全国より 8.6 ポイント低い。授業評価は各学期におこなっており、その都度生徒の実態を把握し、よく分かる授業づくりをしていくことが大切である。

②数学

- ・平均正答率は、問題Aが全国とほぼ同じで、問題Bが全国をやや下回っている。活用する力を伸ばすために、理由や根拠を常に意識し、数学用語を用いて自分の考えたことを表現することを大切にしていきたい。
- ・問題A Bに共通して、全国平均を下回っている学習指導要領の領域は「数量関係」である。小学校算数でも同じ傾向があり、小中が連携をして取り組むことが大切である。特に中学校では、表・グラフ・式を関連付けて考察する活動を通して学ぶことを大切にしていきたい。
- ・質問紙調査で「数学の授業の内容はよく分かる」「数学の勉強は大切だと思う」の肯定的回答は全国と比べてそれぞれ+9.0 ポイント、+6.6 ポイントであり、生徒の意欲が高く、取り組みの成果と考えられる。
- ・質問紙調査で「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」の肯定的回答は全国と比べて-3.6 ポイントである。活用する力をつける上でも、根拠を理解するように心がけるよう指導することが大切である。

③理科

- ・平均正答率は、全国・県に比べてやや上回っている。学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」であり、「地学的領域」は全国平均をわずかに下回っている。
- ・質問紙調査で「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」「観察や実験を行うことは好き」の肯定的回答は全国と比べてそれぞれ+8.1 ポイント、+6.6 ポイントであり、自然環境に親しみ、観察や実験への意欲も高い傾向がある。
- ・質問紙調査で「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」「科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがある」の肯定的回答は全国と比べてそれぞれ-5.4 ポイント、-4.3 ポイントである。学んだことを活かすことや、学んだことからさらに探求していく経験を積ませたい。

④生活

- ・質問紙調査で「朝食を食べていますか」に肯定的な回答は 99.1%で、全国比で 5.5 ポイント高い。就寝・起床時刻に関する質問への回答を含めて、規則的な生活ができていく傾向がある。ただし、質問紙調査で「普段（月～金曜日）、1日当たりどれ

くらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲーム除く）」に「4時間以上」と回答した生徒は7.8%で全国比-7.8ポイントであるが、「3時間以上、4時間より少ない」と回答した生徒は26.1%で全国比+9.2ポイントである。時間の使い方について考え、よい良い生活をしていこうとする意識を高めたい。(小中共通)

- ・質問紙調査で「家で、学校の宿題をしていますか」に肯定的な回答は94.8%で、全国比で9.1ポイント高い。「家で、学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答は17.4%で、全国比は-11.9ポイントである。復習・宿題を中心とした家庭学習であることがうかがえる。思考力・表現力・判断力につながるように自ら進んで考える活動を家庭学習に取り入れていく指導も必要である。
- ・質問紙調査で「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答は70.4%で、全国比で+37.4ポイントとかなり高い。児童の90.6%に比べると低くなるが、高い数値といえる。中学生になり参加が減る傾向はあるが、地域の行事によく参加しているといえる。

平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要について（その2）

平成24年度中学校第3学年の生徒が平成21年度に小学校第6学年であったときの調査との比較は、次のとおりです。

1 平均正答率

平成21年度 小学校第6学年 (△は－を表す)

	平均正答率(%)			
	国語A (主として知識)	国語B (主として活用)	算数A (主として知識)	算数B (主として活用)
北栄町	71.5	55.4	83.5	53.7
鳥取県(公立)	70.9	52.5	81.5	55.9
全国(公立)	69.9	50.5	78.7	54.8
県との比較	0.6	2.9	2.0	△ 2.2
全国との比較(※1)	1.6	4.9	4.8	△ 1.1

○小学6年は、算数Bで全国・県の平均正答率をやや下回っている。国語Aは県平均正答率とほぼ同じである。他は全国・県平均正答率を上回っている。

平成24年度 中学校第3学年 (△は－を表す)

	平均正答率(%)			
	国語A (主として知識)	国語B (主として活用)	数学A (主として知識)	数学B (主として活用)
北栄町	75.8	65.6	62.5	47.5
鳥取県(公立)	76.0	65.2	64.0	49.5
全国(公立)	75.1	63.3	62.1	49.3
県との比較	△ 0.2	0.4	△ 1.5	△ 2.0
全国との比較(※2)	0.7	2.3	0.4	△ 1.8

○中学3年は、数学A・Bで県平均正答率をやや下回っている。数学Bは全国平均正答率をやや下回っている。国語Bは全国平均正答率を上回っている。他は、全国・県平均正答率とほぼ同じである。

2 平成21年度と平成24年度の「全国との比較」

平成21年度(小6) 全国との比較(※1)	1.6	4.9	4.8	△ 1.1
平成24年度(中3) 全国との比較(※2)	0.7	2.3	0.4	△ 1.8
(※2)－(※1)	△ 0.9	△ 2.6	△ 4.4	△ 0.7

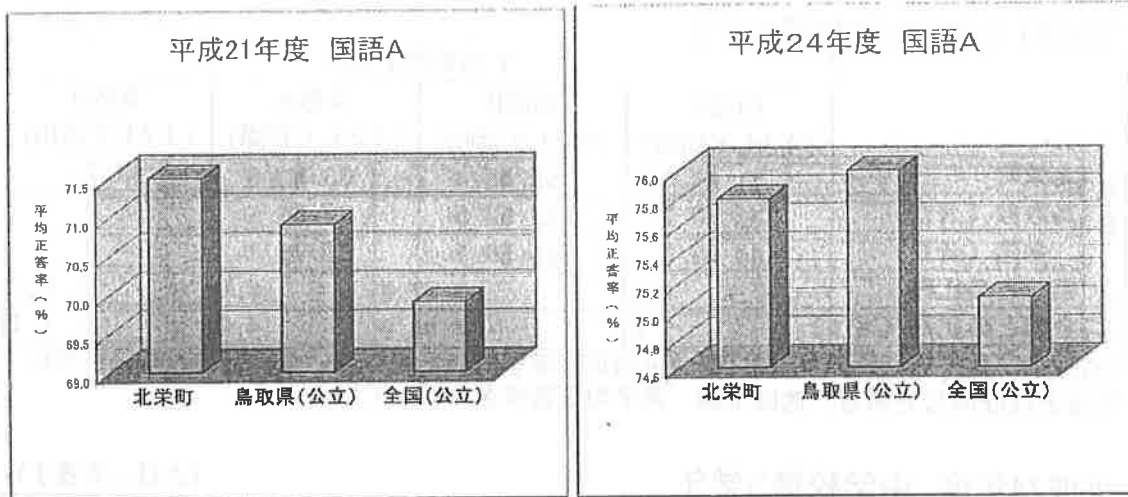
○小学6年・中学3年ともに、数学Bだけが全国平均正答率をやや下回っている傾向は同じである。国語B・数学Aでは上回っている数値が減少した。

3 教科の概要

○国語A

・平均正答率が平成21年度は全国に比べてやや高く、平成24年度はほぼ同じである。
 ・領域別では、平成19年度は「話すこと・聞くこと」が全国に比べてかなり高かった。平成24年度は、「読むこと」が全国よりやや低かった。他はほぼ全国と同じであった。「話すこと・聞くこと」の数値の減少が特に大きかった。

(領域は小・中ともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」)

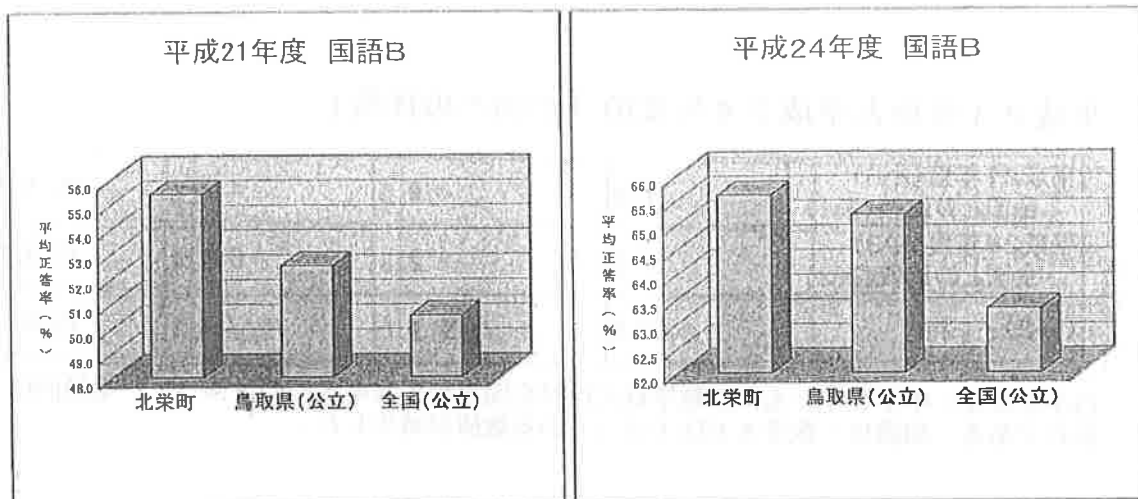


○国語B

・平均正答率が全国に比べてやや高いことは、平成21年度・平成24年度ともに同じである。上回った数値は、平成21年度より平成24年度のほうがやや小さくなっている。
 ・領域別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で平成21年度・平成24年度ともに全国に比べてやや高かった。数値が上昇したのは、「書くこと」であった。

(平成24年度「言語事項」の設問なし)

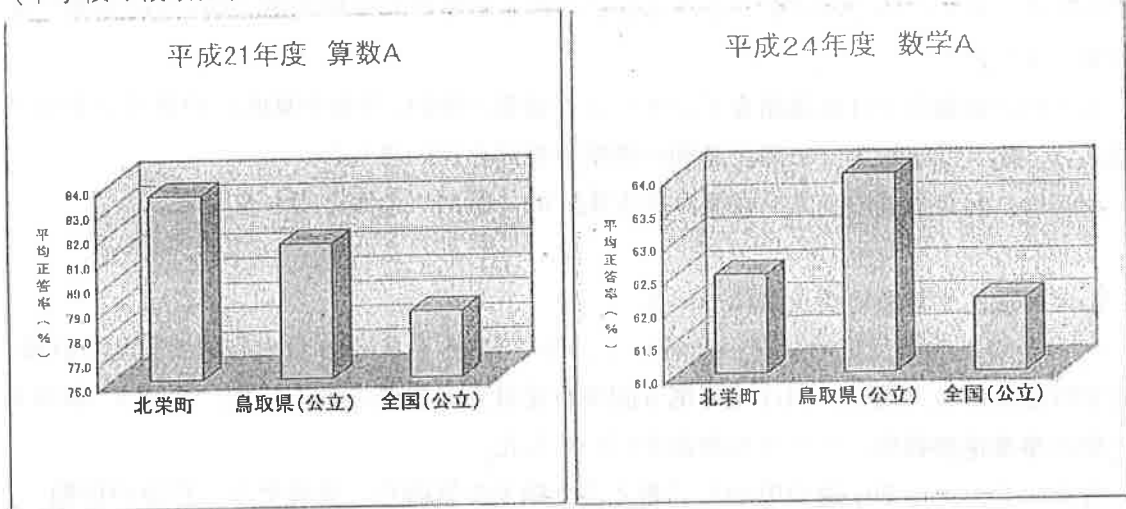
(領域は小・中ともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」)



○算数A・数学A

- ・平均正答率が平成21年度は全国に比べて高かった。平成24年度はほぼ同じである。
- ・領域別では、平成21年度はどの領域も全国に比べてやや高かった。平成24年度は、「数量関係」が全国に比べて低かった。

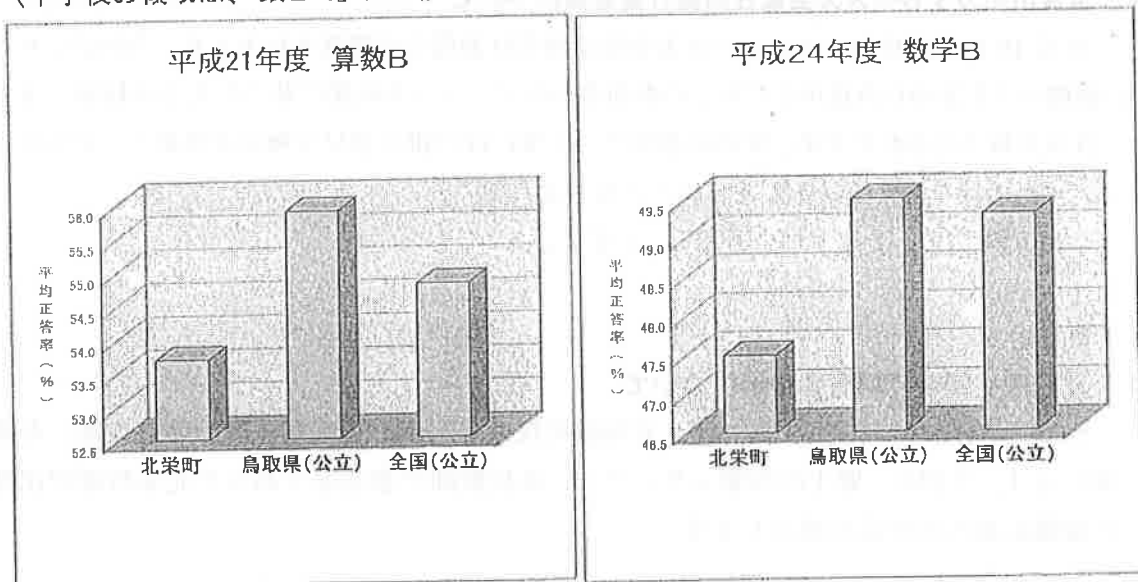
(小学校の領域は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」)
 (中学校の領域は、「数と式」「図形」「数量関係」)



○算数B・数学B

- ・平均正答率が平成21年度・平成24年度ともに全国に比べて低く、同じ傾向であった。
- ・領域別では、平成21年度は「数量関係」が全国に比べてかなり高かったが、平成24年度はやや低くなった。「数と式」「図形」は平成21年度、平成24年度ともに全国に比べて低かった。

(小学校の領域は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」)
 (中学校の領域は、「数と式」「図形」「数量関係」)



10月行政報告

＝生涯学習課＝

1 北栄町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする審議会について

9月20日、10月22日大栄農村環境改善センター青年研修室に於いて、「北栄町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする総合計画」の見直しに係る第2回・3回審議会を開催しました。

第2回の審議会では意識調査アンケートの結果の検討、今後の見直しのポイントなど協議し、第3回審議会では総合計画の素案の検討を行いました。

次回は、総合計画の具体的懸案事項を集中的に検討する事となりました。

2 部落解放文化祭実行委員会について

10月9日、大栄文化センターに於いて、今年12月8日～10日の日程で開催される、北栄町部落解放文化祭に向けての第3回実行委員会が開催されました。今回は、解放文化祭の事業進捗報告、テーマの決定を行いました。

今年のテーマは501通の中から「考えよう相手の気持ち 見直そう 自分の行動～みんなの幸せのために～」に決定しました。

3 第5回北栄てくてくウォークについて

10月14日、第5回北栄てくてくウォーク「北条八幡宮と黙仙禅師コース」を実施し、町内外より41名が参加しました。参加者は、北条八幡宮の由緒や曹洞宗の管長を務め禅の普及に努められた日置黙仙禅師の墓所、生家を訪ね北条地区の歴史に触れました。

次回は、11月18日に「郷土の芸術コースコース」を実施する予定です。

4 由良川イカダレース大会第8回実行委員会について

10月16日、由良川イカダレース大会第8回実行委員会が開催されました。今回は、8月5日開催の「北栄ゆら由良川くんだり」の参加者へのアンケート結果に基づき大会を検証しました。意見が賛否分かれたため、年内に参加チーム等に呼び掛け意見交換会を実施し、イカダレースにつき全員で考える場を設けることとなりました。

意見交換会は、11月下旬を予定しています。

《事業予定》

1 北条歴史民俗資料館企画展について

10月27日から11月18日の間、北条歴史民俗資料館の企画展「穂近勉遺作展」を開催します。今回は、郷土の作家シリーズで、高校教師で書道家であった北栄町瀬戸出身の故穂近勉氏の作品を展示します。

議案第61号

校区外就学について

から児童生徒の校区外就学に係る申し立てがなされたので、北栄町立小学校及び中学校の校区に関する規則第5条により委員会の承認を求める。

平成24年10月26日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

- 1 校区外就学申立児童名
- 2 保護者
- 3 校区外就学申立学校名
- 4 指定学校名
- 5 校区外就学期間

平成24年10月19日～平成25年3月31日まで

- 6 理由

部活動がないため（要綱第2条第10号部活動の有無）